



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社ソディック 上場取引所 東
 コード番号 6143 URL https://www.sodick.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 前島 裕史 TEL 045-942-3111
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	13,030	△30.8	△88	—	△67	—	△18	—
2019年12月期第1四半期	18,828	2.4	2,093	△6.0	2,168	11.4	1,460	10.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △1,687百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 1,984百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△0.39	—
2019年12月期第1四半期	31.09	26.69

(注) 2020年12月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	113,650	56,410	49.6	1,198.92
2019年12月期	114,647	58,745	51.2	1,247.06

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 56,336百万円 2019年12月期 58,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	12.00	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,800	0.3	3,800	11.0	3,800	6.8	3,100	54.8	65.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルス感染拡大の影響につきましては、現時点では精査できておらず、通期業績予想には反映しておりません。また、感染拡大による不確定要素が増大しており、算出が困難である第2四半期の業績予想は行わず、通期予想のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	53,450,916株	2019年12月期	53,450,916株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	6,464,199株	2019年12月期	6,407,799株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	47,039,398株	2019年12月期 1 Q	46,972,920株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、全世界的に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動が抑制され、急速に減速しております。また、先行きについても厳しい状況が継続すると見込まれ、内外経済をさらに下振れさせるリスクが顕在化しております。

このような事業環境の中、当社グループは、長期経営計画「Next Stage 2026 ～Toward Further Growth～」を掲げ、「創造」「実行」「苦労・克服」という創業精神を基盤に豊かな未来につながる技術を磨き、ものづくりを通して持続可能な社会の実現にチャレンジしております。

営業活動におきましては、世界各地の展示会に出展してソディックブランドを強化する計画は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により相次いで中止となりましたが、2月初旬に当社西日本支店及び東日本支店においてお客様、代理店等を招待しプライベートショーを開催しました。昨年10月に発表した新製品の形彫り放電加工機「AL40G」を初披露したほか、金属3Dプリンタで製造した金型を用いた高精度成形品やIoTを活用した生産管理システムなど様々な機械を展示し、高精度加工に対応する当社の製品群をアピールするなど積極的な営業活動を展開しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高130億30百万円（前年同四半期比30.8%減）、営業損失88百万円（前年同四半期は営業利益20億93百万円）、経常損失67百万円（前年同四半期は経常利益21億68百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益14億60百万円）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

工作機械事業	売上高	8,238百万円	(前年同期比 38.3%減)
	営業利益	197百万円	(前年同期比 1,993百万円減)
<p>当社の最大市場である中国をはじめ世界的に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気が大幅に減速し、自動車やスマートフォン、電子部品など幅広い産業での事業活動停止等による製品出荷の後ろ倒しや設備投資を先送りする傾向が強くと見られた結果、放電加工機の販売台数は大幅に減少しました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しつつある中国においては、自動車やスマートフォン関連などで3月に受注が回復しております。</p> <p>セグメント利益においても販売台数の減少に伴う工場稼働率の低下等により前年同期比で大幅に減少しました。</p>			
産業機械事業	売上高	2,556百万円	(前年同期比 10.2%増)
	営業利益	142百万円	(前年同期比 61百万円増)
<p>全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の抑制はあるものの、5Gスマートフォンのアンテナ部品向けや監視カメラのレンズ向けに需要が見られ、販売台数は前年同期比で微増となりました。また、3月に中国・アジアにおいて5G関連を中心に需要が拡大した結果、受注は前年同期比で大幅に増加しております。</p>			
食品機械事業	売上高	782百万円	(前年同期比 56.0%減)
	営業利益	25百万円	(前年同期比 311百万円減)
<p>各種製麺機、麺製造プラント、無菌包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、その保守サービスを行っております。</p> <p>製麺機関連で既存顧客からのメンテナンスや設備増強のほか、衛生面や省人化を目的とした需要増が見られたものの、主要な案件の売上見込み時期が下期以降であることに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による設備投資の先送りの動きもありました。また、前年同期には製麺関連の大口案件があったことから、売上高は前年同期比で大幅に減少しました。</p>			
その他	売上高	1,453百万円	(前年同期比 6.1%増)
	営業利益	60百万円	(前年同期比 67百万円増)
<p>精密コネクタなどの受託生産を行う精密金型・精密成形事業、リニアモータやセラミックス部材の販売等を行う要素技術事業から構成されております。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、セラミックスの需要の減速は継続しているものの、金型成形事業の需要回復もあり、売上高は前年同期比で増加しました。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、9億97百万円減少し、1,136億50百万円となりました。主な減少要因としては、受取手形及び売掛金の減少8億11百万円、その他の流動資産の減少4億41百万円、建物及び構築物の減少4億19百万円、機械装置及び運搬具の減少3億96百万円などがあげられますが、現金及び預金の増加15億51百万円などにより一部相殺されております。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、13億37百万円増加し、572億39百万円となりました。主な増加要因としては、長期借入金の増加10億56百万円などがあげられます。

純資産は前連結会計年度末と比較して、23億34百万円減少し、564億10百万円となりました。主な減少要因としては、為替換算調整勘定の減少12億77百万円、利益剰余金の減少6億32百万円などがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,873	35,425
受取手形及び売掛金	13,773	12,962
電子記録債権	1,589	1,368
商品及び製品	8,733	8,746
仕掛品	7,585	7,814
原材料及び貯蔵品	7,339	7,260
その他	2,774	2,332
貸倒引当金	△379	△385
流動資産合計	75,290	75,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,257	27,837
機械装置及び運搬具	20,887	20,491
その他	13,512	13,465
減価償却累計額	△30,800	△30,833
有形固定資産合計	31,856	30,960
無形固定資産		
のれん	1,494	1,455
その他	916	889
無形固定資産合計	2,411	2,345
投資その他の資産		
その他	5,184	4,914
貸倒引当金	△95	△95
投資その他の資産合計	5,088	4,818
固定資産合計	39,357	38,125
資産合計	114,647	113,650

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,231	4,383
電子記録債務	5,063	4,672
短期借入金	2,508	2,505
1年内返済予定の長期借入金	8,944	8,830
未払法人税等	293	239
引当金	695	921
その他	5,355	5,990
流動負債合計	27,092	27,543
固定負債		
社債	8,841	8,841
長期借入金	18,203	19,259
引当金	271	212
退職給付に係る負債	545	513
資産除去債務	63	63
その他	885	806
固定負債合計	28,810	29,696
負債合計	55,902	57,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,785	20,785
資本剰余金	5,896	5,896
利益剰余金	33,670	33,038
自己株式	△4,647	△4,681
株主資本合計	55,705	55,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	901	499
為替換算調整勘定	2,286	1,008
退職給付に係る調整累計額	△227	△211
その他の包括利益累計額合計	2,960	1,296
非支配株主持分	79	74
純資産合計	58,745	56,410
負債純資産合計	114,647	113,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	18,828	13,030
売上原価	12,183	8,957
売上総利益	6,645	4,073
販売費及び一般管理費		
人件費	1,897	1,857
貸倒引当金繰入額	20	5
その他	2,634	2,298
販売費及び一般管理費合計	4,552	4,161
営業利益又は営業損失(△)	2,093	△88
営業外収益		
受取利息	57	61
受取配当金	103	53
為替差益	23	—
持分法による投資利益	—	1
助成金収入	69	84
その他	47	76
営業外収益合計	301	277
営業外費用		
支払利息	68	66
為替差損	—	157
持分法による投資損失	12	—
貸倒引当金繰入額	120	11
その他	24	21
営業外費用合計	226	257
経常利益又は経常損失(△)	2,168	△67
特別利益		
固定資産売却益	4	9
特別利益合計	4	9
特別損失		
固定資産売却損	50	—
固定資産除却損	3	0
関係会社出資金評価損	52	—
その他	3	—
特別損失合計	108	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,064	△58
法人税、住民税及び事業税	497	109
法人税等調整額	106	△146
法人税等合計	603	△36
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,461	△21
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,460	△18

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,461	△21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	△401
為替換算調整勘定	525	△1,276
退職給付に係る調整額	△60	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△2
その他の包括利益合計	523	△1,665
四半期包括利益	1,984	△1,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,981	△1,682
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,362	2,320	1,776	17,459	1,369	18,828	—	18,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	75	—	82	569	652	△652	—
計	13,369	2,396	1,776	17,542	1,939	19,481	△652	18,828
セグメント利益又は 損失(△)	2,191	80	336	2,608	△7	2,600	△507	2,093

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△507百万円には、セグメント間取引消去66百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△573百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,238	2,556	782	11,577	1,453	13,030	—	13,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	1	—	55	378	434	△434	—
計	8,292	2,558	782	11,632	1,832	13,465	△434	13,030
セグメント利益又は 損失(△)	197	142	25	365	60	425	△513	△88

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△513百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。